

山形県における新型コロナ対応の目安

〔注意・警戒レベル〕

	状態	参考とする指標等	対応検討策
レベル1	県内では確認されていないが、国内で感染者が確認されている状態	—	<ul style="list-style-type: none"> 県民は「新・生活様式」の実践を心がける 事業者は、業種別の感染拡大予防ガイドラインに取り組む ○感染が増加している地域への移動はできるだけ控えるよう、県民に呼びかけ なお、必要があって移動する場合は、移動先での「新・生活様式」を徹底するよう、呼びかけ
レベル2 【注意】	県内での感染者の確認が限定的な状態	【1週間あたりの新規感染者数】 1人/週 以上	レベル1に加え、 <ul style="list-style-type: none"> ○「新・生活様式」の実践及び業種別感染拡大予防ガイドラインの徹底を県民と事業者に呼びかけ ○発熱等の症状がある方への早期受診相談の呼びかけ ○業界団体に対し、ガイドライン実践の自主点検を依頼
レベル3 【警戒】	感染の広がりが懸念される状態	【感染経路不明者数】 1人/週 以上 かつ 【重症入院患者数】 1人以上 以下の指標も参酌する。 【1週間あたりの新規感染者数】 【病床使用率】	レベル2に加え、 <ul style="list-style-type: none"> ○感染発生状況や特徴に応じた注意喚起や感染防止対策の徹底を協力依頼 【例：高齢者や基礎疾患のある重症化リスクの高い方に対し、より慎重な行動を呼びかけ ：感染が発生した施設と同様の業態の業界団体及び事業者に対し、ガイドライン遵守の徹底を依頼 など】
レベル4 【特別警戒】	感染が拡大傾向にある状態	【感染経路不明者数】 2人/週 以上 かつ 【重症入院患者数】 3人以上 以下の指標も参酌する。 【1週間あたりの新規感染者数】 【病床使用率】	レベル3に加え、 <ul style="list-style-type: none"> ○感染発生状況や特徴に応じた行動を協力依頼 【例：ガイドライン実践施設の利用を呼びかけ ：実践していない施設の利用を控えるよう呼びかけ】
レベル5 【非常事態】	感染が拡大し、医療提供体制のひっ迫が懸念される状態	医療現場のひっ迫状況を踏まえて判断 以下の指標も参酌する。 【重症入院患者数】 【1週間あたりの新規感染者数】 【病床使用率】	<ul style="list-style-type: none"> ○県独自の非常事態宣言の発出 ○新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき次の事項を協力要請 <ul style="list-style-type: none"> ・不要不急の外出自粛 ・ガイドラインを実践しない施設の利用自粛 ・ガイドラインを実践しない施設の営業自粛(休業)

〔注意・警戒レベル〕を引き下げる場合の目安

区分	目安
レベル5からレベル4へ引き下げる	① レベル4の参考指標である 「感染経路不明者数 2人/週 以上」 「重症入院患者数 3人以上」 のいずれかが該当しない状況が1週間程度継続 ② 病床使用率が20%未満の状況が1週間程度継続 ③ 新規感染者数が安定的に下降傾向
レベル4からレベル3へ引き下げる	① レベル3の参考指標である 「感染経路不明者数 1人/週 以上」 「重症入院患者数 1人以上」 のいずれかが該当しない状況が1週間程度継続 ② 病床使用率が10%未満の状況が1週間程度継続 ③ 新規感染者数1桁の状況が1週間程度継続
レベル3からレベル2へ引き下げる	レベル3の参考指標である 「感染経路不明者数 1人/週 以上」 「重症入院患者数 1人以上」 のいずれかが該当しない状況が1週間程度継続
レベル2からレベル1へ引き下げる	新規感染者が確認されない状況が1週間程度継続

- ◆ 各レベルの適用（引き上げ、引き下げ）にあたっては、上記内容に加え、県内における感染の具体的状況（地域分布、クラスター発生状況等）や、首都圏や近隣県の感染状況なども踏まえ、全体的に判断する。なお、感染状況によっては、地域を特定した対応策を検討する。
- ◆ 変異株による感染の拡大状況を踏まえ、適用レベルよりも高いレベルの対策を講じる場合もある。
- ◆ この目安は、新型コロナに関する今後の状況変化（変異株による感染状況、ワクチンの接種状況など）に応じて随時見直すこととする。